

わたしたちは、地域の未来をつくるエネルギー会社です。

おひさま進歩エネルギー株式会社は、2004年に長野県飯田市に誕生した、再生可能エネルギー会社です。

太陽光発電の普及をめざす市民発のNPO法人「南信州おひさま進歩」を前身組織とする私たちは、

創業当初より地元行政と連携しながら、

「地域づくりに貢献するエネルギー事業のあり方とは何か」を模索し、実践してきました。

結果、再生可能エネルギー分野の新スキーム「屋根貸し太陽光発電」を早期に構築。

エネルギーも経済も地域内循環する、再エネ事業の先進事例をつくりあげています。

この、再生可能エネルギーをきっかけとする「ひと・まち・みどりの環」と呼べるつながりが、自立して楽しく暮らし続けられる地域社会の一助となるように。

これからも、地域のみなさまや企業、行政と協力しながら、

自然の恵みを生かす発電事業に取り組んでまいります。

2025-2035年ビジョン

ひと・まち・みどりの環をつくり地域の元気をつくるエネルギーになる

おひさま進歩エネルギーでは創立20年を機に、これからの10年に向けた新たな目標とビジョンを決定しました。

【ビジョン】
「ひと・まち・みどりの環をつくり地域の元気をつくるエネルギーになる」

【4つの目標】

自然・環境	地域の山や川、そこに暮らす人と生き物を大切に
自社・地域経済	地域の再エネを増やして地域経済循環に貢献する
地域・社会	地域とともに歩み、信頼される会社になる
社員のウェルビーイング	一人ひとりのやりたいを尊重し助け合い成長する



地域の小水力発電から、個人宅の太陽光発電まで幅広い実績を重ねて

私たちは、公共施設屋根を活用した太陽光発電を原点とし、幅広い太陽光発電設備の計画～設置を一貫して受注しています。小水力発電事業は、綿密な事前調査で発電に適した河川を特定したうえで、地権者をはじめ関係するみなさまへご提案しています。いずれも、設置後も定期的に適切なメンテナンスを行い、地域のみなさまとの信頼関係を築いています。

再エネがもたらすメリット

- 自治体様に
自治体のゼロカーボン計画を実現する
太陽光発電、小水力発電などの施策提案や設備導入
- 企業様や農業者様に
CO₂ゼロの環境価値をもち、エネルギーコストを安定させる
太陽光発電導入の提案と設備導入
- 個人のお客様に
CO₂ゼロの電気で環境にやさしく暮らせて、
万が一の非常用電源にもなる太陽光パネルのご提案と設備導入
- 小水力発電の検討地域に
昼夜を問わず安定して発電し、収益の一部で地域に貢献する
小水力発電のご提案と設備導入

関係者の声



ニデックモビリティ株式会社
コーポレートマネジメント部
総務グループ グループリーダー
森岡 瞳 様

低リスクかつ低価格の再エネ導入が実現できました

当社は2040年までにScope1,2のCO₂排出量実質ゼロを目指し、Nidecグループ初の太陽光オフサイト型コーポレートPPAをおひさま社と契約しました。自社設置の検討では初期費用や管理負担、約20年の設備拘束が懸念点でしたが、オフサイトなら柔軟に需要場所を変更可能なため、低リスクかつ低価格でクリーンな電気を安定的に確保できました。地域社会と連携し、地産地消型のエネルギー供給モデル確立をめざします。

主な事業概要

01. 【発電所建設・設置事業】 調査・設置・メンテナンス つくる／守る

設置事例

駄科コミュニティ防災センターでの 太陽光発電事業（長野県飯田市）

おひさま進歩社が屋根の貸与を受け2014年より発電事業を実施。お支払いする賃料は、防災備品の購入費やセンターの修繕費に活用されています。再エネ導入が地域の防災力強化にもつながると評価され、「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」第1号に認定されました。

PPA（自家消費型）太陽光発電事業 （飯田市ほか中部エリア）

おひさま進歩社が企業様の建物や公共施設へ太陽光発電設備を設置し、電力供給を行いお客様から消費電力量に応じた電気料金をいただきます。お客様は、自社での発電設備のメンテナンスや管理が不要。初期費用ゼロで割安な再エネ電気を長期的に確保することができます。

野底川小水力発電所の建設・運営（長野県飯田市）

流量調査の結果、小水力発電の適地と判明した野底川に既存の砂防えん堤を生かした小水力発電施設を建設。上郷地域まちづくり委員会との共同事業として運営しています。売電収益の一部は、発電所のある野底山森林公園の整備や環境学習に使用されています。



【その他の設置事例】

泰阜村公共施設へのパネル・蓄電池導入／ねぎ畑などで営農型太陽光（ソーラシェアリング）／高森町民体育館にパネル設置ほか



認定こども園 鼎あかり保育園
園長
福岡 恵子 様

保育園児にもわかりやすく 楽しい環境学習会です

おひさま進歩社さんには、園児に向けた環境学習会を開催していただきました。マスコットキャラクターの「さんぼちゃん」と一緒に、省エネを学習。「電気で動くものは何があるかな？」との質問には、「冷蔵庫！」「こたつ！」など次々に声があり、「誰もいないときはどうする？」「こたつが熱すぎる時は？」「消す！」「ちょっどよくする！」と節電の声も。エネルギーの大切さを学ぶ貴重な時間となっています。



住民ワークショップ：長野県原村ではロードマップ策定支援の一環で住民ワークショップを実施。地球温暖化対策を実現するために必要な行動を村民と事業者、役場が共同で考えました。



地球温暖化防止対策推進協議会
（長野県中川村）



計画策定の仮付けとなる調査
（長野県高森町）

03. 【環境学習・啓発事業】 エネルギーのこと 楽しく、わかりやすく 伝える

地域での再生可能エネルギーの広がりをめざして創業した当社は、設立当時から保育園や小学校などで環境学習を実施してきました。子どもたちを通して家庭や地域で環境への関心が高まればとの願いを込め上演したパネルシアターは、2024年までに119ヶ所。延べ9,000人以上の方に省エネの大切さや再エネについて伝えています。

02. 【コンサルティング事業】 設備導入・計画策定も 支える

地域主導の脱炭素計画の策定 設備導入までサポート

エネルギー調査から計画策定、実装まで、一貫して伴走できるのが、自社で再エネ発電事業を行っている当社の大きな強みです。住民のみなさまとの対話を重ねるワークショップの企画運営も受託しています。

過去事例

長野県高森町が2018年より着手した、「地球温暖化防止実行計画」。この策定をおひさま進歩社が継続的に支援しました。結果、官民一体となり温暖化防止対策を実施することを盛り込んだ計画が完成。2022年に環境省「地域脱炭素化移行・再エネ推進交付金事業」に選定され、モデルケースとして注目を集めました。



保育園で開催したパネルシアターの様子



飯田市立旭ヶ丘中学校1年生の総合学習

全国から受講生が集う「飯田自然エネルギー大学」

地域新電力

飯田まちづくり電力



2018年、おひさま進歩エネルギーと株式会社飯田ケーブルテレビ、株式会社飯田まちづくりカーパニーが共同出資で創業した新電力会社。南信州の太陽光発電、小水力発電が生み出した電気を供給しています。

おひさまファンド

市民出資でうごかすエネルギー



全国から出資者を募って太陽光や小水力発電、省エネ設備を設置し、事業の収益から元本と利益を還元する「おひさまファンド」。当社は2005年、日本ではじめてこのファンド募集を実施しました。これからも小水力の建設時など、志ある市民の出資をもとに発電所を建設します。（募集業務は第二種金融商品取引業者に委託）。